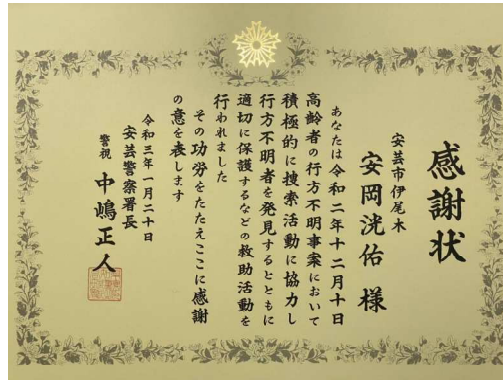


高知県警・安芸警察署長、行方不明となり警察、消防、青年団等が出動し長時間捜査中の  
80代痴呆症高齢者を救出し命を守った

### 安岡洸佑（高知安芸跆拳道クラブ、初段、少年部出身）表彰！



警察、警察犬、消防、地域が大掛かりで捜索していたけど発見できなくて、防災無線を聞いた洸佑が20時頃参加して20分位で発見しました。発見した場所は警察犬も捜索していました。

親としても、洸佑が自分からこのようなことに参加する事が不思議？洸佑は、テコンドーしかしていません！勉強はダメでしたけど武道を通じて成長したとおもいます。ある人がいました。国道の橋の真ん中に単車を止めて何をしているのか？と見ていると、跳ねられそうになっていた子犬を助けていた。あの洸佑がと！

私自身、河先生及び日本テコンドー協会に感謝しています。最近、勇佑と審査課題を二人で練習している時が一番の楽しみです。お父さん手が反対とか言われながら！河先生の一緒にはじめないかの言葉に感謝しています。



### 河 明生宗師範談

「少年部時代の洸佑は、あまりまじめな少年とは言えなかったが、日本跆拳道を通じて健全な青年に成長した。このたび人命救助で活躍し、警察署長から表彰されるとは、まことに喜ばしい限りである。洸佑の成長や私及び「J T Aに感謝しています」という父親の感謝の言葉は師範冥利につきる。

子育て中の親に一つの考え方を披瀝したい。

最近、Aから、かつて高知安芸TCに在籍していた少年部Xの現状を聞いた。  
Xは洗佑よりもまじめで、日本跆拳道に対しても情熱があり筋も良かった。  
しかし、X本人が続けたいと熱望していたのに、親が強引に退会させてしまった。  
数年後、Xは進学した高校を中退し、郷里から逃げるように都会でホストをしていると聞かされた。  
おそらく親との関係は修復できないと思われてならない。

私は約40年間の指導を通じて子育てに失敗する親をたくさん観察してきた。  
子育てに失敗する親は、子供を親のアンドロイドだと錯覚している。  
子供はいつまでも親の言うとおりに、というよりは支配下にあるという幻想を抱いている。  
その錯覚と幻想をやめないと、長じて子供が離れていくだろう（身近な事例として愚兄と姪二人の関係）。

子供は、自分の意思をもち、自分の価値観に応じた人生を歩む人間である。  
まじめなことを一生懸命がんばっているのなら、親は黙って応援すべきである。  
洗佑の親はそれを実践し、Xの親はそれをしなかった。  
今回の表彰は、実は、洗佑の親に対する表彰状であると考える。